

起伏しらぬ

(大正十一年寢歌)

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

一

起伏^{おきふし}知らぬ運命^{さだめ}こそ
時の流転^{るとん}の弧^この上^{うえ}を
あはれ雪解^{ゆきげ}のましみづに
なが^{なが}流^つれて尽きぬ濁流^{だくりゅう}よ

二

未知^{みち}のひろ野^ののかぎろひて
かが^{かが}や輝^ひくまでに萌^もえ出^いでし
わか^{わか}草木^{くさき}のさゆらぎに
はる^{はる}ふか^{ふか}ひ春深^{はるふか}き日^ひの逍遙^{さうやう}や

三

澄^すみて雲^{くも}なき空^{そら}と野^のを
かぎ^{かぎ}りて走^{はし}る山並^{やまなみ}に
たか^{たか}高^{こう}き心^{こころ}のをののきは
おど^{おど}躍^{ちほ}る血潮^{ちほ}の真夏^{まなつ}日陽^ひよ

四

銀^{ぎん}の香炉^{こうろ}にし^のび雨^{あめ}
楡^{いれ}の繁^{しげ}みに交^{まじ}らへば
おほ^{おほ}あめ^{あめ}つち^{つち}大地^ちも傾^{かたむ}きて
いのち^{いのち}命^{いのち}かなしき秋^{あき}なれや

五

夜毎^{よごと}にさゆる窓^{まど}の星^{ほし}
やみ^{やみ}闇^{やみ}行く櫓^{そり}の鈴^{すず}の音^{おと}に
まこと^{まこと}真理^{まこと}の水^{みづ}の人^{ひと}掬^{むす}ひ
もと^{もと}求めてやまぬ瞑想^{めいさう}よ

六

深^{ふか}き安^い息^{こひ}の夢^{ゆめ}やすく
げに憧^{あこが}憬^れの地^ちやこ^こに
たく^{たく}み芸術^{げいじゆ}の霊^{れい}ぞただよへる
じいう^{じいう}自由^{じいう}の精^{せい}ぞみなぎれる